

自宅で苦しむ患者を支える！ コロナと戦う“キサツ隊”の絆

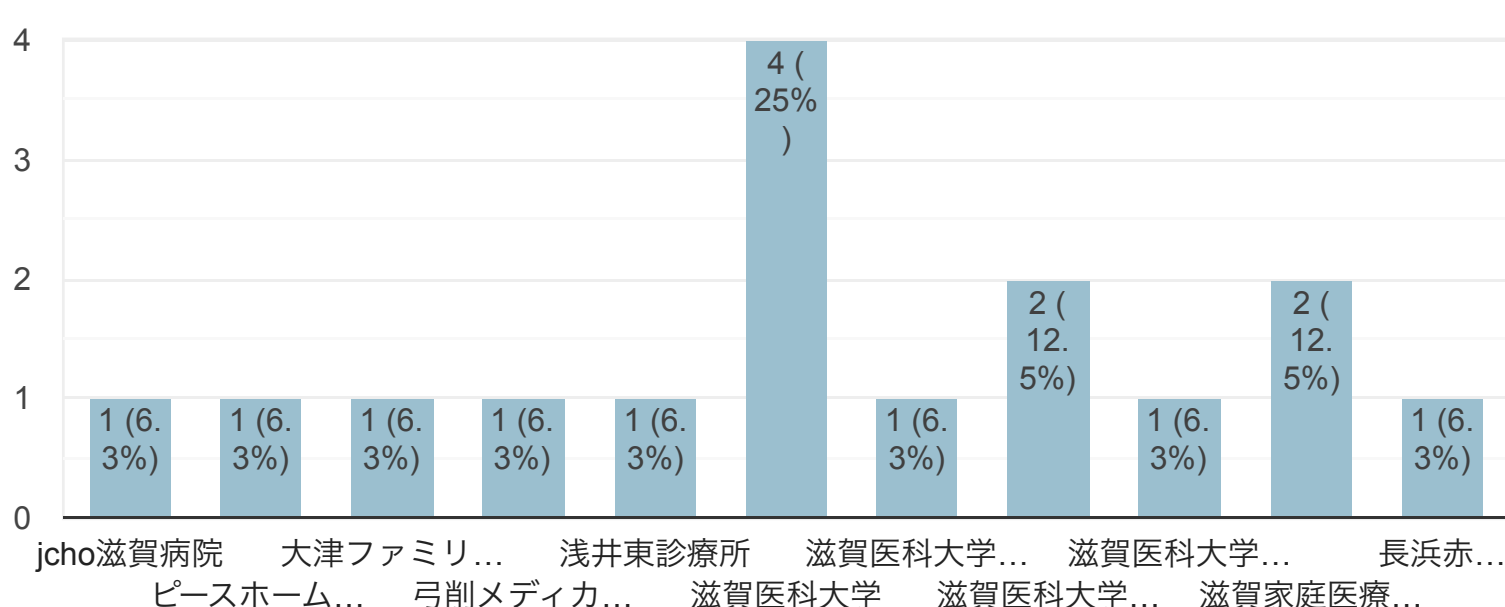
20220703_事後アンケートver1_第7回びわ湖家庭医療フォーラム

16件の回答

ご所属・勤務先

コピー

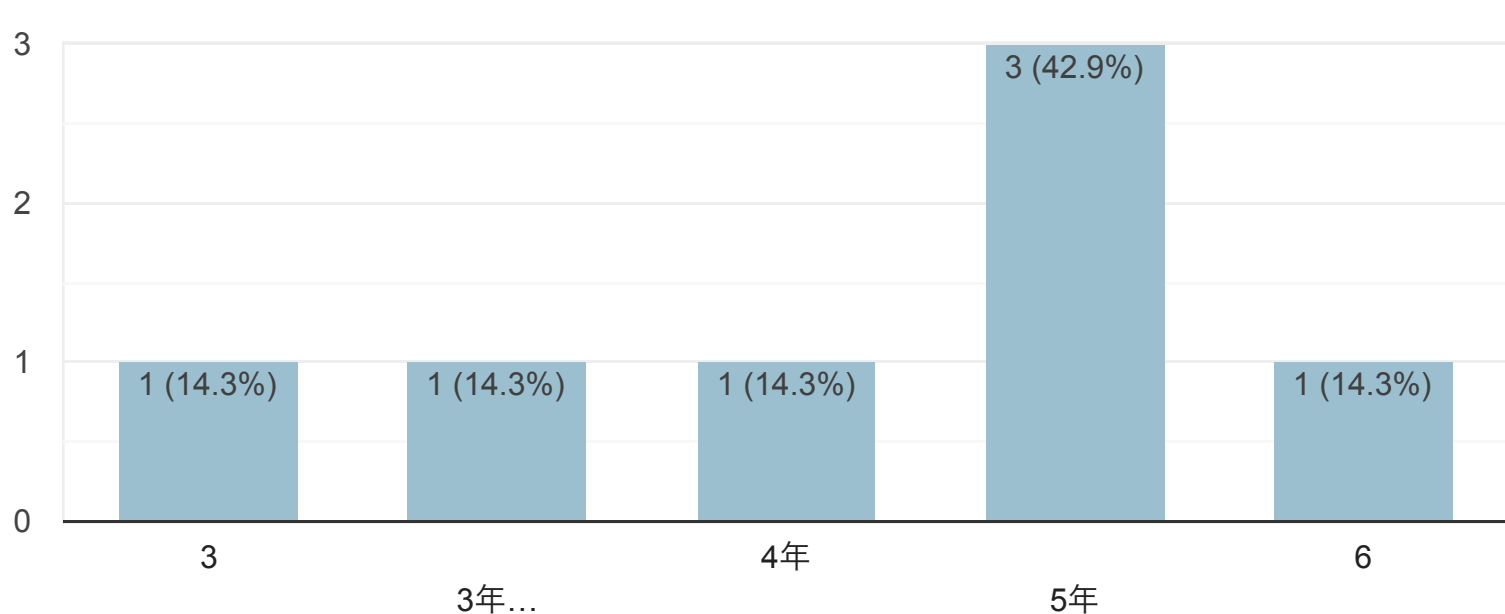
16件の回答



(学生の方) 学年

コピー

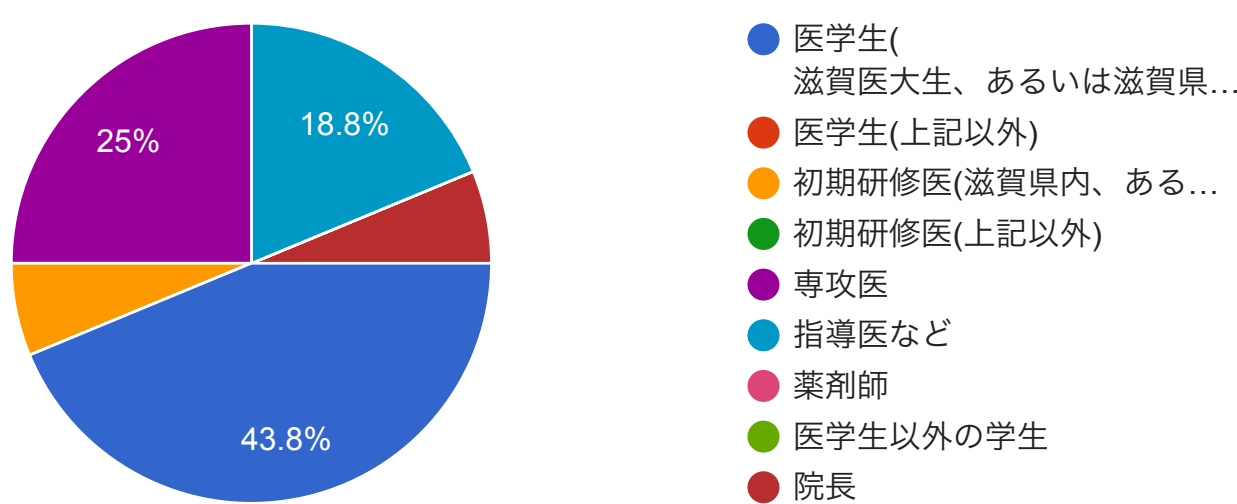
7件の回答



お立場

コピー

16件の回答

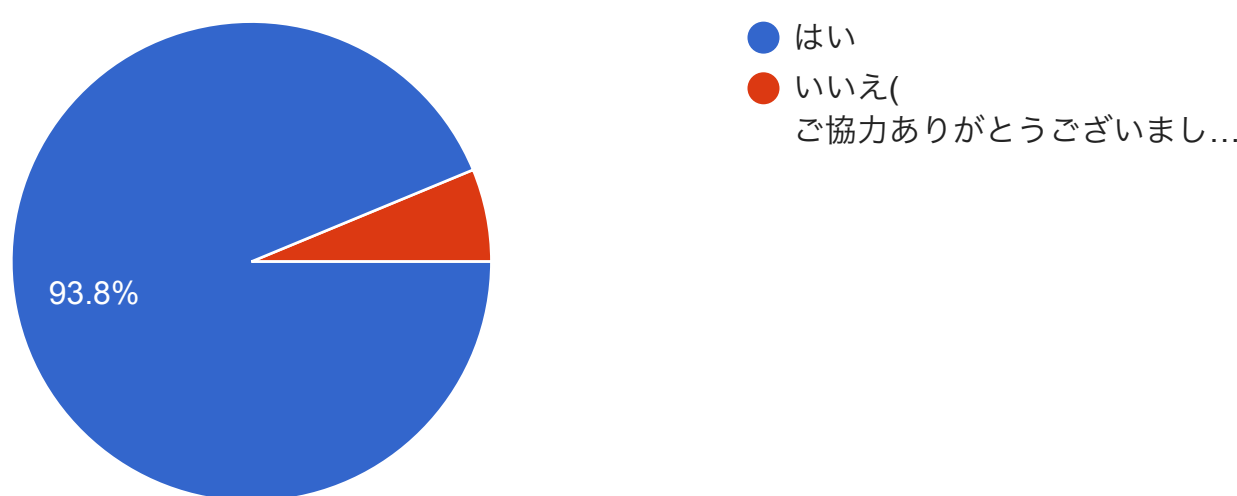


アンケートにお答え頂ける方は「はい」を選択ください。また、単位認定が必要な方も「はい」を選択ください。

コ

ピ

16件の回答

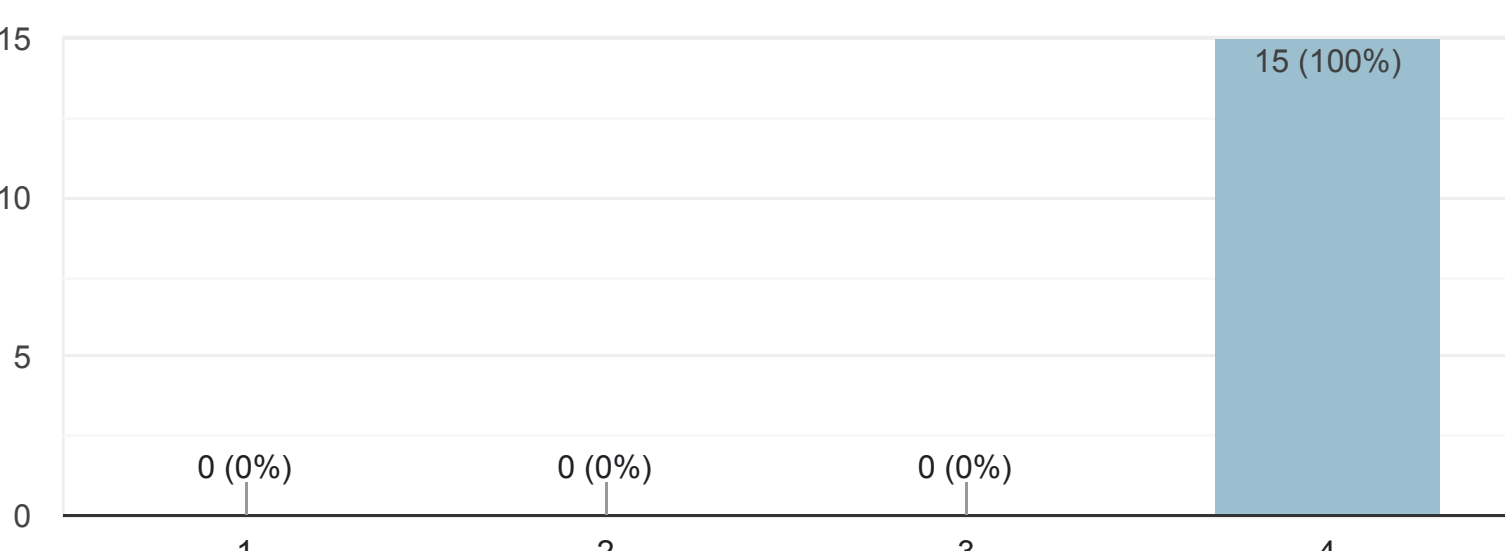


事後アンケート

メイン講演（宮本先生）についてどれくらい満足されましたか？

コピー

15件の回答



メイン講演について、何かコメントや感想、追加のご質問などございましたら、なんでも結構ですのでお願いします！

7件の回答

実際の体験が多くておもしろかったです。

楽しかったです。救急と在宅の共通点、興味深い。

ただただ面白かったです。勉強にもなりました

救急と在宅の視点から社会のニーズに応える医療を提供する取り組みに感動しました。医療リソースの適切な配分など、それぞれの立場を経験して見えた景色があるからこそ成せる役割だと感じました。患者への分かりやすい説明もとても大切だということを実感しました。社会のセーフティネットという言葉が印象的でした。

宮本先生の、1時間半という長さを感じさせない楽しい講義をきけてよかったです。ありがとうございました！

コメントスクリーンで相互にやり取りできたのが楽しかったです。

在宅医療と救急医療の親和性について知れてよかったです、在宅医療の往診が今後より、求められるようになると思うので、納得感のある話でした。地域のセーフティーネットという言い方がとっても納得感がありました。

質問ですが、コロナのように、感染状況に波があり、さらに社会的な偏見や嫌悪感も強い疾患をメインに診療するチームだと、バーンアウトしてしまう人出てしまうのではないかと思います。宮本先生が継続的にチームがうまく回るようにするために、工夫していることはありますでしょうか？（素人質問で申し訳ありません。）